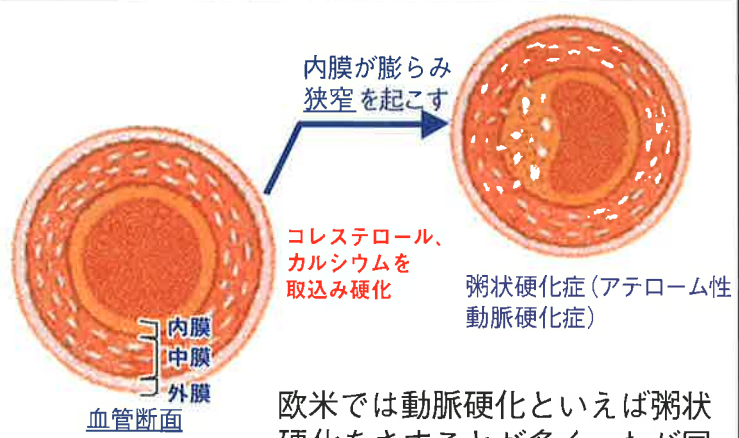


動脈硬化とは動脈血管壁にコレステロール等の脂質が沈着し、血管の細胞が増殖したりして、血管が弾力を失い、硬化するとともに、内腔が狭くなる（狭窄）状態です。



欧米では動脈硬化といえば粥状硬化をさすことが多く、わが国でも生活習慣の欧米化に伴い昭和50年以降、粥状動脈硬化に分類される動脈硬化が多くなってきました。

次のような危険因子を多く持つ人は、動脈硬化がより起りやすいといわれています。

- (1) 高血圧、(2) 血清脂質の異常、
- (3) 喫煙、(4) 糖尿病、(5) 肥満など

動脈硬化の進行を放置すると・・・

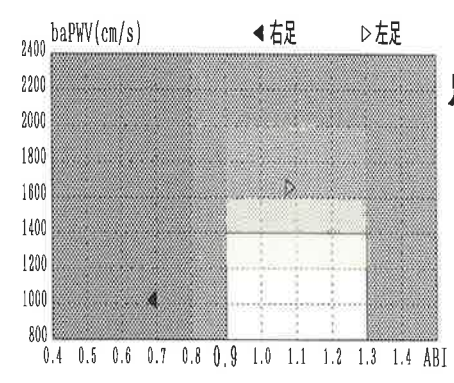
心臓に酸素や栄養を供給している冠動脈に起れば**狭心症、心筋梗塞**、
 脳の血管がもろくなれば**脳出血**、詰まれば**脳梗塞**、
 足の動脈に起れば**下肢の壊死**につながる可能性があります。

検査方法 下肢の動脈の狭窄には ABI値、動脈壁硬化には PWV値 の測定が非侵襲的な検査として用いられています。(動脈瘤は診断できません)

ABI検査とは...

ABIは腕の血圧と足首の血圧の比です。ABI値が0.9以下の場合、下肢閉塞性動脈硬化症の疑いがあります。動脈硬化による下肢の血管の狭窄が進んでいることを表します。

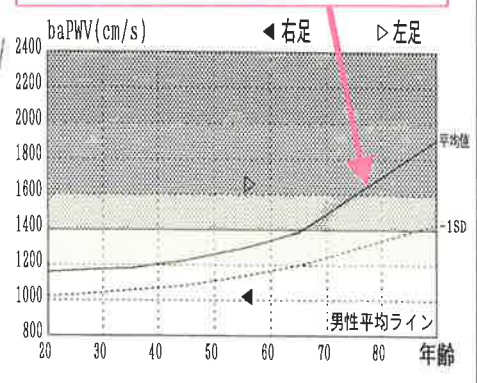
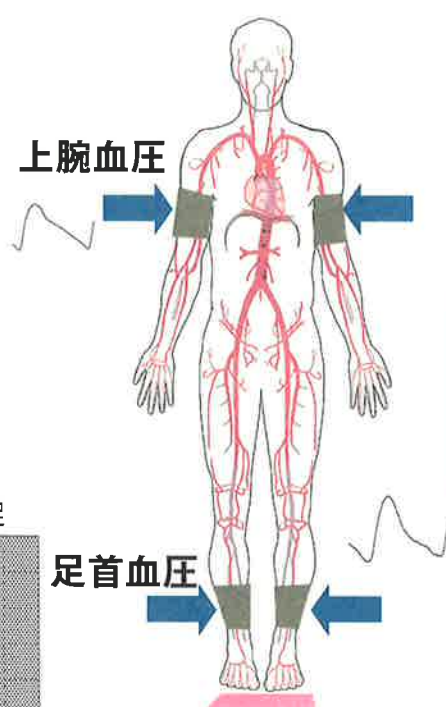
$$\text{ABI値} = \frac{\text{足首最高血圧}}{\text{上腕最高血圧}}$$



PWV検査とは...

baPWVは腕から足首までの脈波の伝播速度です。この値が大きいほど血管壁が硬くなっていることを表します。baPWV値は年齢とともに増加します。

年齢に対する標準的なbaPWV値を示しています。血圧が高くなることでもbaPWV値は増えます。



縦向きに「エプソン」を裏向きにして矢印の方向にセットしてください。

生活習慣の改善につとめると共に、定期的に検査することをお勧めします。